

福県医発第 1407 号 (総)

平成 17 年 11 月 4 日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 竹 嶋 康 弘



中皮腫患者に関する調査研究への協力について

標記の件につきまして、別添写しのとおり、日本医師会より通知がありました。

本件は、厚生労働科学研究事業において、平成 15 年 1 月から 12 月までの 1 年間に中皮腫で亡くなられた 878 名の調査研究を行うこととしたものであります。本調査研究は、遺族に対するアンケートや医療機関に保管されている亡くなられた方の医療記録（カルテ、レントゲン、病理組織標本等）について分析を行うもので、調査研究を行うに当たっては、事前に文書で説明の上、遺族から承諾を得ることを前提としております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会会員に対して周知・協力方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 毛利康茂・蒲池 壽

日医発第602号(地Ⅱ122)

平成17年10月24日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

植 松 治 雄

中皮腫患者に関する調査研究への協力について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長より、中皮腫患者に関する調査研究への協力について、本会に対して別添のとおり周知・協力方依頼がありました。

本件は、厚生労働科学研究事業において、平成15年1月から12月までの1年間に中皮腫で亡くなられた878名の調査研究を行うこととしたものであります。本調査研究は、遺族に対するアンケートや医療機関に保管されている亡くなられた方の医療記録（カルテ、レントゲン、病理組織標本等）について分析を行うもので、調査研究を行うに当たっては、事前に文書で説明の上、遺族から承諾を得ることを前提としております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会管下郡市区医師会、会員に対して周知・協力方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。



基安労発1011003号

平成17年 10月11日

社団法人日本医師会会長 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部労働衛生課長

中皮腫患者に関する調査研究への協力について（依頼）

日頃より、労働衛生行政の推進に御尽力いただき御礼申し上げます。

さて、昨今の石綿（アスベスト）による健康被害の増加を受け、厚生労働省では厚生労働科学特別研究事業におきまして平成15年1月から12月までの1年間に中皮腫で亡くなられた878名の調査研究を行うこととなりました。主任研究者は独立行政法人労働者福祉機構岡山労災病院の岸本卓巳副院長であります。調査は平成18年3月31日まで実施し、4月下旬に報告書の形で公表されます。

この調査研究は、人口動態統計を利用するため、総務大臣および厚生労働大臣の許可を得て実施します。また、調査研究を行うにあたっては、疫学調査における倫理指針に基づき、岡山労災病院における倫理審査委員会の承認を得ており、これらを通じて守秘義務を遵守いたします。さらに、ご遺族から、調査研究を実施するにあたり事前に文書で説明の上、承諾を得ることを前提としております。

調査研究はご遺族に対するアンケートの他に、医療機関に保管されている亡くなられた方の医療記録（カルテ、レントゲン、病理組織標本等）についての分析という形で実施いたします。

つきましては、貴会員の医療機関における医療記録の一時貸し出しをお願いすることにつきまして、ご了承いただきたく存じます。御了承の上は、貴会員への周知方よろしくご協力の程お願いいたします。なお、878名が加療を受けていた医療機関宛には、あらためて個別に本依頼を行う予定でおります。

H17 年度厚生労働科学特別研究「中皮腫と職業性石綿ばく露に関する研究」 概要（主任研究者：岡山労災病院副院長 岸本卓巳）

◎人口動態統計を利用した実態調査

人口動態統計上、平成 15 年に中皮腫で死亡したとされている 878 例について調査研究を行い、石綿曝露との関連について検討する。

【調査期間】平成 17 年 8 月 26 日～平成 18 年 3 月 31 日

【調査項目】

878 例の年齢、性別、住所（都道府県）、職業歴、発見契機（健診か否か）、自覚症状、喫煙歴、診断根拠、発生部位、組織型、ステージ（TNM 分類 IMIG による）、治療内容と予後 等

【遺族への調査】

亡くなった方の石綿ばく露歴を明らかにするために、遺族に対して、職業歴や生活環境に関するアンケート調査を実施。同時に、医療記録の使用に関する承諾を得る。

【検討項目】

- 1) 都道府県別の男女比と年齢別検討
- 2) 職業内容の分析と石綿ばく露率の検討（男女と年齢別検討）
- 3) 原発巣別の自覚症状
- 4) 発見契機：健診か、自覚症状か、他疾患フォロー中か、等
- 5) 診断根拠（手術、剖検、細胞診、画像等）、組織検査率と組織型の検討
- 6) アスベストばく露の根拠
 - ① 画像診断 胸膜プラーク、石綿肺、円形無気肺、びまん性胸膜肥厚の有無
 - ② 石綿小体数の検討
 - ③ 画像診断、石綿小体数、職業歴に対する年齢、性別、都道府県別検討
- 7) 予後調査
 - ① 治療内容、病期、年齢、性別による予後の検討
 - ② 有効な治療方法の検討
- 8) 労災申請、労災補償と石綿健康管理手帳の発給の有無の調査
- 9) 中皮腫発生と環境ばく露の影響についての検討

【倫理面等への配慮】

- 1) 倫理審査委員会：岡山労災病院における倫理審査委員会にて審査、承認を得ている。
- 2) 疫学調査に関する倫理指針：研究対象者から直接インフォームド・コンセントを受けることが困難な場合（死者など）には、代諾者等からのインフォームド・コンセントを受けることが出来るとされており、今回遺族からの承諾を得ることを前提としている。
- 3) 個人情報保護法：死者には適用されない。
- 4) 人口動態統計の目的外使用：総務省および厚生労働省から厳密な審査を受けた上での研究となっており、報告書印刷の前に、厚生労働省労働基準局安全衛生部において、公表内容、公表の仕方については事前に審査、調整を行う。

「中皮腫と職業性石綿ばく露に関する研究」

【主任研究者】

岸本 卓巳 (独)労働者健康福祉機構岡山労災病院副院長

【分担研究者】(五十音順)

青江 啓介 (独)国立病院機構山陽病院呼吸器科医長

井内 康輝 国立大学法人広島大学大学院医歯薬学総合研究課病理学教授

大西 一男 (独)労働者健康福祉機構神戸労災病院副院長

加藤 勝也 国立大学法人岡山大学医学部放射線科助手

城戸 優光 産業医科大学医学部呼吸器病学教授

玄馬 顕一 (独)労働者健康福祉機構岡山労災病院呼吸器内科部長

高田 寛 (独)国立病院機構近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター

肺がん研究部長

成田 亘啓 奈良厚生会病院名誉院長

三上 春夫 千葉県がんセンター研究局疫学研究部部長

